

第1回 桐生市学校規模等適正化梅田中学校区検討委員会 議事録

○日時 令和6年2月13日(火) 午後1時30分～午後2時47分

○場所 桐生市立梅田中学校 2階 会議室

○出席者

【桐生市学校規模等適正化梅田中学校区検討委員会】9名

委員長	小島 登
副委員長	大根 理恵
委員	後藤 学
委員	窪田 樹
委員	小島 隆
委員	間中 一枝
委員	大澤 貞雄
委員	齊藤 好子
委員	加藤 秀幸

【桐生市教育委員会】10名

教育長	小林 一弘
《事務局》	
教育部長	戸部 裕幸
教育部参事	飯泉 尚士
教育部総務課長	園田 博宣
教育部教育未来室長	原橋 貴史
教育部教育未来室教育未来係長	千葉 敦弘
教育部教育未来室教育未来係	高畑 央
教育部教育未来室教育未来係	和田 泰孝
教育部教育未来室教育未来係	寺島 達也
教育部教育未来室教育未来係	大澤 豊

【傍聴者】 0名

【報道機関】 1社

○議事の概要

- 1 開 会 [開始：午後 1 時 30 分]
- 2 委嘱状の交付 ・小林教育長から委員へ委嘱状を交付
- 3 教育長挨拶 ・桐生市教育委員会 教育長 小林 一弘

本日は、お忙しい中、第 1 回桐生市学校規模等適正化梅田中学校区検討委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

皆様におかれましては、日頃から教育行政の推進をはじめ、市政の各般にわたりご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。また、この度は、本検討委員会の委員を快くお引き受けいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、全国的に少子化が進む中、桐生市においても児童生徒が減少し、小中学校の小規模化が進行しており、教育環境や学校運営への影響が懸念されております。

桐生市教育委員会では、子供たちを取り巻く状況が大きく変化する中、児童生徒にとって、より良い教育環境の構築と質の高い学校教育を実現するため、令和 3 年 7 月に桐生市立小中学校適正規模・適正配置審議会に諮問し、約一年間にわたりご協議いただいた後、令和 4 年 8 月に桐生市立小中学校適正規模及び適正配置に関する基本方針の策定についての答申をいただきました。その後、昨年 3 月に、いただきました答申に基づき、教育委員会としての基本方針を策定いたしました。そしてその後、昨年 7 月から 9 月までの間において、保護者の皆さん及び地域の皆さんを対象として、説明会を実施いたしました。

今後は、このたび設置しました本検討委員会において、小中学校の現状や課題等について、認識を十分共有しつつ、関係者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、梅田中学校区における学校規模の適正化に向けた協議を進めさせていただきます。

以前、私が中学校で勤務していた頃、平成元年度には、桐生市内の小中学校の児童生徒数は、当時の新里村と黒保根村を合わせて、16,846 人でありましたが、今年度は 6,042 人であり、当時の 36 パーセント、つまり約三分の一になっています。また、今年度、市内全体の小学校 1 年生が約 550 人であるのに対し、6 年後の令和 11 年度の小学校 1 年生、つまり令和 5 年 3 月末現在の 0 歳児は約 350 人です。これは現在の 1 クラス 30 人の少人数学級編制で考えても、市内 17 校ある小学校等に 12 学級分に満たない 1 年生しか 6 年後は入学しないということです。そして、今年度、梅田南小学校の普通学級の 1 年生は 16 人ですが、14 区の年齢別人口によりますと、就学前の 5 歳児が 10 人、4 歳児が 8 人、3 歳児が 8 人、2 歳児が 6 人、1 歳児が 1 人、0 歳児が 8 人となっています。この数字には、菱町 5 丁目の幼児の人数は入っておりませんが、今後の傾向としてご理解ください。

現在、教育委員会といたしまして、未来を担う子供たちには、複雑で多様な社会をたくましく生き抜くことができるような大人に育ててほしいという思いから、『桐生の未来を担い、世界に羽ばたく人づくり』を掲げています。自ら学び、課題を見つけ、解決していく力を身に付け、未来を切り開こうとする子供たち、気概にあふれた人づくりをしたいと考えています。そもそも義務教育段階の学校は、計算問題や漢字書き取りの正解率を上げることだけが目的ではなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、社会的自立のための資質を養うことを目的としています。そして、そうした教育を十全に行うためには、一定規模の児童生徒集団が確保されていることが必要です。

皆様におかれましては、子供たちにとって、良好な教育環境や充実した学校教育を実現するという事を第一に考えながら、それぞれのお立場から、子供たちのために、様々なご意見を賜りますよう、お願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

4 自己紹介

- ・委員及び事務局自己紹介

5 委員長及び副委員長の選出

- ・委員の互選により、委員長に小島登委員、副委員長に大根理恵委員を選出

6 議 題

- ・議事に入る前に、事務局から、過半数以上の委員の出席により、会議が成立することを報告。
- ・議事進行は、桐生市学校規模等適正化中学校区検討委員会及び地域協議会設置要綱第 8 条の規定により、委員長が議長を務める。

(1) 学校適正配置の方向性の決定に向けた今後の進め方について

- ・資料 3～資料 6 に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
議長(委員長)	ただいま事務局の説明がありました。これに対してご質問、ご意見などございましたら、挙手をお願いしたいと思います。
委員	皆さんも、梅田がもう随分前からこういうことにはなるのではないかっていうことは、ずっと前から考えていたことですよね。説明にもありましたとおり、子供たちが、これからどんな少人数でもきちんと育ててくれないと困るわけですよね。少ない学校だからこうだとかってことではなくて、統合にするにしても、これからいろんな話し合いがあると思いますが、何しろ小規模でも大きくても、子供っていうのは、同じような教育を受けさせてやらないとかわいそうだと思います。本当に梅田地域を見ると、将来どうしようかっていう怖いくらいですよ。だから、そんなところをこの梅田の中の役員さんだけでも時々集まって、よく相談して、大きい会議に持っていくっていうことも大事なんじゃないでしょうか。
議長(委員長)	ありがとうございました。他にございますか。
委員	資料 5 の 2 ページにある複式学級というのは、具体的にどういう学級なのか、説明をしていただけますか。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (参事)	人数が減ってきた場合に、学年をまたいで、例えば 1 年生と 2 年生を一緒にして、1 つの教室で担任 1 人が教えるというのが複式学級になります。小学校 1 年生を含む場合、8 名以下になると複式学級になります。小学校 1 年生を含まない場合、16 名以下になると複式学級になります。
議長(委員長)	ありがとうございました。他にございますか。
委員	いろいろ難しい問題があると思うのですが、梅田地区が 1 丁目から 5 丁目までかなり距離が長い。したがって、いずれ規模的には統合の方向には向かわざるを得ないと思うのですが、通学時間 30 分に関して、自動車等のテクノロジーを使ってもいいし、どのように解決していくかっていうことがポ

発 言 者	発 言 内 容
	<p>イントになると思います。つまり、梅田中学校の地点からすれば、距離的には、清流中とかあるいは具体的に名前を出さないまでも、その通学距離、通学時間を満たすとは思いません。ただ、この梅田中より北側に梅田地区は広範囲に広がっていますので、その辺りをどう扱うかっていうことがポイントになると思います。つまり、梅田の4丁目5丁目付近には、もうそもそも子供はいないんだと、子供はもう増えないんだと、そういうことを前提にして、いわば切り捨てるようにして、その通学30分以内というのを考えるのか、どうするのかということが、非常に問題になるんだなと思います。</p>
議長(委員長)	事務局から何かありますか。
事務局 (教育未来室長)	<p>望ましい通学時間については、通学手段問わず、スクールバスや公共交通機関を活用して、30分以内というのを基準にしております。教育委員会としましては、児童生徒の通学の安全確保が第一であり、そうしたことに十分配慮しながら進めてまいりたいと考えております。</p>
議長(委員長)	ありがとうございました。他にございますか。
委員	<p>梅田の場合は、地理的条件がこれから統合するにしても、距離もありますし、道も結構、現在も中学生が自転車で通っている人がおりますけど、時にはね、危ない場面も見ることがありますから、先ほどの事務局の説明のとおり、安全に安心して登下校できるっていうことをもう第一条件にして、そういう環境を作っていただきたいと思いますが、よろしく願いいたします。</p>
議長(委員長)	ありがとうございました。他にございますか。
委員	<p>登下校の話も出ていたんですけども、現在、小学校でもスクールバスを使っておりますし、しかし、現在保護者の送迎がかなり多い。スクールバスに乗せたいのだけでも、乗せられない現状があり、いつも頭が痛い思いなんですけども、そういうことを考えると、統合を万が一した時にも、そういうことのないようにというか、距離が長く、歩いて登校できない子に対しては、スクールバスや公共交通機関を使いやすい状態になって欲しいなと思います。また、教職員から見ても子供の人数が少ないと、マンパワーが少なく、本当に質の良い教育に関しては、ある程度の教職員の人数が必要かなと、子供さんのためにですけれども、これから先についてまた皆さんと協議していきたいなと思っております。</p>
議長(委員長)	ありがとうございました。他にございますか。
委員	<p>私自身、子供が3人いまして、小学校に1人で保育園に2人子供が通っております。私自身も梅田の4丁目に住んでいるのですが、1番上の子もスクールバスを活用させていただいています。スクールバスで行き帰りの予定表が配られるのですけれども、その紙には現時点で3人しかおりません。皆さんが言っているように、5丁目に関しては、ほぼ保育園に関してはいない状況になっています。いたとしても、私が現時点で知っている限り1人ですので、4丁目5丁目に関して、スクールバスの検討ももちろんしていただけたらと思うのですけれども、私たち保育園、小学校の親の立場からしてみると、どちらかというと、スクールバスがなかったとしたら、親が送迎すればいい</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>だけの話であるので、梅田はすごく人数が少ないので、学校でいろいろな子と接することができる環境を整えていただける方が、ありがたいかなというふうに私は思っております。私の今1番下の子が1歳なので、6年後に小学校に上がった時に、今の小学校よりも半分以下の人数になってしまいますので、そうするとなかなか他の子と接するということも少なくなってしまうと思いますので、そこに関して、もっと早くいろいろな子と接することができる環境を作っていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございました。他にございますか。</p>
委員	<p>子供の数が多或少ないは、良い面もあれば悪い面もあります。これ教員数も同様ですけれども、そういったことについて、いろいろ意見を出し合って、話しながら梅田の子供たちにとって、どういう教育が良いのか、また、どういう環境が良いかをこの検討委員会の中で話をし、より良い案を出していただきたいなと思います。私も、学校評議員会の中で感じるのですが、いろいろな人がいて、いろいろな意見が出ることで考えが非常に深まるように思います。私自身、地域のことをいろいろ話す中で、新しい気づきがありましたので、この検討委員会の中で、いろいろ意見をいただいて、子供たちにとって良い環境、良い教育ができるような方向性を出していきたいなと思います。いろいろな場面でこの検討委員会以外でも、話をさせていただくことはとても大事だと思いますので、是非そんな形で委員の皆様には、ご意見をいろんな所で聞いてもらうのも大事じゃないかなと思います。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございました。他にございますか。</p>
委員	<p>私は、何年か前は、すごく統合するということに前向きだったんですけれども、こちらに来て少し年数が経っていたら、地域の皆様に愛される子供っていうのをすごく愛しいっていうか、ありがたいなっていうのをすごく感じて、学校をなくしてしまうっていうのではなくて、地域の皆様と離れないようにうまく子供たちが、少ない人数っていうのじゃなくて、もうちょっとこう、なんて言うんだらう、いろいろな子供たちと触れ合えるっていうのも、梅田の良さを出しながら、私たちがいろいろ検討委員会で話し合いができたらいいなと思っています。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございました。最後に私から2、3点意見を述べさせていただきます。まず、第1に、この統廃合、適正化については、私たち役員じゃなくて、本当の意見っていうのは、保護者であったり、未就学児童を持つ若い人たちの意見が最優先になろうと思います。それですから、そういう方たちの意見を取り上げて、その人たちが納得いくところに落ち着けばいいのかなと思っています。それから、学校は、一つの教育機関ではあるんですけども、梅田南小とか梅田中に限って言えば、避難所的なものもあるわけですよ。あるいは、グラウンドゴルフでお借りしたり、体育館は婦人部のバレーボールをやったり、いろいろお借りしたりしている部分があるので、仮に学校としては成立しなくてもそういう目で残していただきたいのが、住民を代表したものの立場になります。それからもう1つ、例えば、清流中あるいは中</p>

発言者	発言内容
	<p>央中と一緒にするというような話になれば、その学校配置、いわゆるどこの学校に集約するのかという話があるわけなのですが、梅田の区長とすれば、梅田地区に集約するというのも一つ、この風光明媚な場所に集約するというのも、一つの意見であるということは、私の立場としては申し上げておかなければならないということをお願いしたいと思います。以上でございます。他にございますか。</p>
委員	<p>今のご意見のとおり、本当に梅田は風光明媚、すごく良い場所なので、私は梅田の生まれ育ちではなく、お嫁に来た身なのですが、50年もいるからもう梅田の人なのですけれどもね。それで、梅田中でも過去に北中と統合するという話がありました。それはもう20年ぐらい前になりますが、その時確かに梅田中学校が少なくなってしまうと、北中学校と統合しようという話になって割とそうしようっていうことになったんですね、一時期ね。でも、それがあつた時に、こんな綺麗な風光明媚なところで、山紫水明なところから、学校をなくしてしまつて、統合するということは、結局は梅田中が北中に吸収されるような形の話になっていたからですけれどもね。そんな話が出た時に、私たちは、もっとよく話し合つて今後長い年月が経つと、きっと梅田も少なくなるんじゃないか、こんな現状になるんじゃないかとある程度分かつていたんですね。だから、そういう時に話し合いがきちんとできなかったから、またそれがズルズルしてきて、こんな本当に少ない形になって、この検討委員会を設置することになるわけですから、今回は、きちんと協議して、子供のためにも、梅田のためにも、いろいろなことを考えて、しっかりした協議をしたいなつて、将来のためにもそのように思つております。</p>
委員	<p>今のご意見と同じような意見ですけれども、前回のその北中との統合の関係で集まつた時に、伝統とかそういうのばかり考えていて、なかなか子供たちのことをあまり重視してくれなかつたという話を聞いたことがあります。私の孫もサッカーをやつており、梅田中にはサッカー部がなかつたものですから、結局違つたところに中学受験をしたことがありました。サッカーがやりたくて、そんなこともありますので、少人数で良い教育はできるのでしょうかけれども、部活とかそういうことを考えますと、いろいろな面で弊害もあるんじゃないかとそんな感じがします。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございました。他にご意見はございますか。本日の議事は終わりましたが、その他、全体を通して何かご意見があれば、また挙手をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。それでは、出尽くしたようですので、もし何かありましたらですね、後日、私か事務局の方へ言つていただければ、また協議したいと思います。ありがとうございました。本日予定をしておりました議事は以上になりますので、ここで議長の任を解かせていただきます。皆様、ご協力ありがとうございました。</p>

7 その他

8 閉会 [終了：午後2時47分]